

## あいさつ日本一・マナーアップ運動

佐々っ子応援団では、「あいさつ日本一・マナーアップ運動」をスローガンに、登下校の見守りを強化活動として取り組んでいます。

その啓発ポスターの原案は町民の皆様方からご応募いただき、植松義則さんの作品を採用させていただいている。ポスターは、町内各所に掲示しています。

朝の登校時の見守り活動は、町内各所で多くの方々により実践されています。

特に、**学期始めの一週間と、毎週月曜日を強化キャンペーン**としており、多くの団体が一緒に取り組んでいます。「できる方が、できる時に、できる場所で、できる形で」のご協力をお願いします。

### 見守り活動ができる方の連絡をお待ちしています。

ウォーキング、犬の散歩、買い物に出かける際などに、まずは、佐々っ子応援団のビブスを着用していただけで結構です。

連絡先 佐々町教育委員会 62-2128



## あいさつ日本一・マナーアップ運動



## 小・中学校における地域と連携した取り組み

### ●佐々小学校 “親父の会による門松作り”

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、例年のように地域の方々の力を借りて教育活動を進めることがほとんどできませんでした。

そうした中、何とかコロナが少しでも早く収束することや、2021年が幸福で明るい年になることを願い、「親父の会」主催で宮原造園さんの力を借り、親子で門松作りを実施しました。

竹を切るところからのスタートでしたが、参加者が協力し合い、今年も見事な門松が佐々小学校の校門に飾されました。



### ●口石小学校 “恩返しの会”

本年度、口石小学校では、5年生が地域の老人会や婦人会の指導のもと、米作りや梅干し作りを行いました。2月にはお世話になった方々に感謝の気持ちを伝える場として「恩返しの会」を開催しました。地域や組織の代表の方の前でソーラン節を力いっぱい披露し、育てた米と作った梅干し、そして活動の様子を撮った写真をまとめたアルバムを手渡しました。地域の方々の笑顔を見て、子どもたちも満足げな表情でした。

地域の方々は、コロナ禍においても、登下校時の安全見守りや、さまざまな学習活動の支援をしていただきました。また、地域の方々は、子どもたちにとって人生の先輩であり、口石小学校の教育活動に欠かせない存在です。

### ●佐々中学校 “あいさつ運動”

今年度もたくさんの地域、保護者の方々のご協力のもと、子どもたちの登下校の見守り活動に献身的な取り組みを実施していただき、誠にありがとうございます。

毎朝のあいさつ運動で立哨していただき、大変感謝しております。学校でも「あいさつ日本一」を目標に生徒会を中心に活動しています。佐々っ子応援団として、佐々町の学校・地域・PTAが一体となって活動していただくことで、地域の方々に見守られていることなど、地域の絆を実感するとともに、佐々町の地域力に心から感謝しております。



### 『ながさき土曜学習応援団』をご存じですか？

長崎県教育委員会では、県内の子どもが、より豊かな学びや体験ができるよう、地域や企業・大学など実社会で活躍する大人の参画をいただいて、「ながさき土曜学習応援団」を組織しています。さまざまな活動メニューが用意しておりますので、ぜひご活用ください。

くわしくは、佐々町教育委員会へお問い合わせください。

長崎県教育庁生涯学習課ホームページ

「ながさき土曜学習応援団」で検索できます！



### 大人の心がけ10か条

- 1 条 子どもは大人の鏡 後ろ姿は よき手本
- 2 条 交通ルール 感謝一礼 社会規範は大人のマナー
- 3 条 いってらっしゃい 今日もそっと 背中おし
- 4 条 佐々っ子を ほめよう しかろう 認めよう
- 5 条 善行実践 苦情より 自分の言動ふりかえる
- 6 条 大人から 心をこめて 笑顔で あいさつ
- 7 条 家庭・学校・地域ぐるみで 佐々っ子応援
- 8 条 親子で参加 地域行事 学校行事
- 9 条 早寝早起き 家族そろって 朝ごはん
- 10 条 (各家庭、各職場、各団体の心かけ)

### ～佐々っ子3か条～

うそ  
嘘をつきません  
ひきょう  
卑怯なことはしません  
めいわく  
人の迷惑になることはしません

## 学校・家庭・地域からの声

### ■ 学校からの声

名前も親の顔もわからんけど、小さい頃からずっと見てきたよ。ずいぶん大きくなっただあ・・・」

これは見守りボランティアの方からお聞きした言葉です。「おはよう！」と地域の方に声をかけてもらいながらハイタッチをして横断歩道を渡る子どもたち。そのやりとりからも、地域の方との繋がりの深さがよくわかります。佐々の子どもたちは幸せです。

地域は「土」、子どもは「木」、教師は「風」と言われます。「佐々っ子応援団」のある豊かな「土」(地域)に恵まれ、「木」(子ども)は大きく根を張り、成長しています。

私たち「風」(教師)は、地域のよさを子どもたちに伝える「風」でありたいと思います。



佐々町立佐々小学校  
校長 片渕満里子さん

### ■ 家庭からの声

今はスマホやゲーム機があれば1日誰とも話をせずに過ごしてしまう時代です。

家庭や地域社会においてコミュニケーションが薄れ、社会全体のモラルの低下が深刻な問題となっておりますが、このような問題解決には、地域の連帯感を高めることが重要です。

その1つの方法として佐々っ子応援団で強化活動として取り組まれている「登下校の見守り」を継続していくことで、「知らないかった人」が「あいさつを交わす人」に変わっていきます。だからこそ子どもの頃からいろいろな人とすすんであいさつをしていく経験は大切だと思います。

未来をつくる子どもたちのために私にできることを、佐々っ子応援団の皆さんとともに地域から見守り支えていきたいと思います。



佐々町立口石小学校  
PTA会長 福田 房人さん

### ■ 地域からの声

PTAを卒業し、地域の一員として「主任児童委員」「佐々町交通安全母の会」「佐々町青少年健全育成会」での活動を通じて、地域、小中学校・高校・各PTAと連携して地域の子どもたちを見守っています。「あいさつ日本一・マナーアップ運動」をスローガンとしての活動の中で、子どもたちが元気に挨拶してくれる明るい声や笑顔に癒されながら活動できることに日々感謝しています。

「佐々っ子応援団」の一員として、それぞれの立場で子どもたちの育成環境の改善と安全を地域ぐるみで取り組めるようこれからも微力ながら皆様と活動できたらと願っています。佐々っ子の輝く未来のために今後も見守りを行っていきます。

皆様のご協力をよろしくお願いします。



佐々町青少年健全育成会  
会長 森田久美子さん